

**事業名** アートと産業観光を核とした玉野市観光ルネサンス構想 実施にあたっての実現可能性調査報告書

**地域名** 岡山県玉野市 および瀬戸内海エリア

**玉野市概要**

中心部にある宇野港は、岡山県の玄関港であり、本州と四国を結ぶ海上交通の要衝として発展。造船業を中心とするものづくりの町として栄え、近年は瀬戸内国際芸術祭の影響もあり、アートを感じられる街になってきた。第3次産業へもシフトしている。

面積：(H31.4.1) ... 103.58km<sup>2</sup> 人口(R3.3.31) ... 57,579人 (男性:28,088人 女性:29,491人)

交通：県外からのアクセスは自家用車がメイン。鉄道の利用は限定的

**キーとなる5つの地域**

- みやま公園(観光客数No1) 来場者数 74万人
- 宇野港周辺(瀬戸芸の玄関口) 来場者数 12万人
- 田井工業地域(パワーエックス)
- 玉野辺(造船)
- 山田地域(製塩)

**実現可能性調査の検証内容及び結果**

・玉野市観光ルネサンス構想のコンセプトを掲げ、運輸局、玉野市、地元企業の宇野港土地や中国銀行、妹島和世氏らからなる検討委員会で、コンセプトに基づくコンテンツの磨き上げを行い、議論を重ね、実現に向けたスタートを切る合意を得た。

「瀬戸内産業芸術祭 (=瀬戸産芸)」のコンセプト

- 産業と芸術が合わさる事で、人の心が動き、文化となる。訪れる大人だけでなく、子供も楽しめる体験を提供し、未来の世代からも魅力を感じてもらえる街に。 **産業\*芸術=文化**

・【組織】：「一般財団法人」を早期に立ち上げ、コンテンツの統一感の醸成、各種仕組みづくりを担う「瀬戸内産業芸術祭推進委員会」を設立。参加企業、協賛企業の募集など事業推進を専任で行う人材を採用。  
【オープンファクトリー】：推進委員会が企業の特徴に合わせてアートと掛け合せたコンテンツをプロデュース。コンテンツにはSTEAM教育要素も取り入れる。6社のオープンファクトリー開設を目指す。

・【整備】：宇野港周辺に瀬戸産芸の玄関口となるゲートウェイを早期に開発。

・【再エネ】：玉野市が脱炭素先行地域の申請に合わせて、観光客が訪れるエリアからカーボンニュートラルを推進する。太陽光パネルの導入、電気運搬船による余剰再エネ電力の活用。内燃機関の進入禁止エリアの設定。

・【交通】：電動モビリティ（電気自動車、電動自転車、電動パーソナルモビリティ、電動タクシー、電動バス、電動船）および小型電動船の積極導入、公共交通のバスと列車を段階的に増便により陸上交通の渋滞を回避。可能なタイミングで富裕層向けのヘリコプター、空飛ぶクルマ、自動運航船等を導入。

・【宿泊・飲食】：早期拡充に向け、分散型ホテル、移動式ホテル、古民家・遊休地の活用を推進する。工場敷地併設の規制対応も順次進める。オープンファクトリー来訪者向け飲食もフードトラック等の利用により早期に実現。

・【計画】：2025年に第1回目の開催を目指し、参加・協賛企業を募る。スモールスタートで始め、段階的に、コンテンツの拡張とハードの整備を推進。

来年度に向けた課題としては、関連する法規制等も検討した結果、「グリーン交通システムの構築」「新生宇野港の整備」「ウェルネス施設の拡充」「脱炭素先行地域」の4つのテーマについて計画の詳細化、具現化を進める。

**瀬戸内産業芸術祭**

産業と芸術が合わさる事で、人の心が動き、文化となる。訪れる大人だけでなく、子供も楽しめる体験を提供し、未来の世代からも魅力を感じてもらえる街に。

**産業\*芸術=文化**

美しい産業は、人を惹きつけ、文化をつくる。岡山が未来の都市となるキッカケをここから。

玉野市を起点に、瀬戸内の観光資源を磨き上げ、**世界一の観光地**となる。

**特徴**

1. 宇野港を中心に広がるアートと産業の祭典
2. オープンファクトリーで感じる瀬戸内の産業文化
3. スーパーアプリで誰でも快適に観光できる
4. カーボンニュートラルを実現する美しい旅
5. 瀬戸内の魅力に五感で触れ、心身安らぐ体験

**レガシー形成の最終着地点**

- ・瀬戸内産業芸術祭は、産業とアートを組み合わせた世界初の産業観光を創出する。
- ・緑地化された新生宇野港が滞在型のゲートウェイとなり、トップクリエイターがプロデュースした最高品質の分散型オープンファクトリーが、瀬戸内海エリア全体に広がる。
- ・来訪客はアートを入り口に、ものづくりの壮かさや素晴らしさに圧倒されると共に、ライフサイクル産業へと挑戦する製造業の姿にも触れることができる。
- ・各拠点を結ぶ交通は陸海空の全てでグリーンモビリティであり、電力は全て再生可能エネルギーで賄われる。
- ・オープンファクトリーでの体験の後は、瀬戸内の多島美を満喫するウェルネス施設で癒しの一時を過ごす。
- ・既存の取り組みとも連携して、年間数百万人規模の来訪者で、1000億に迫る地元への経済波及効果を生み出す。

**独自性・旅行者を惹きつける要因・要素**

- ・古来より海上交通の場として栄え、独自の社会・経済文化圏を歴史的に形成してきた、瀬戸内海地域には、地域の特性を活かした工場が多く立ち並ぶ。その工場をアーティストとキュレーターがタッグを組み、製造品の特徴を生かした新しいオープンファクトリー体験をプロデュース。訪れたときから五感で感じて学ぶ設計は、子供から大人までも楽しめる。企業が取り組むアップサイクルや、カーボンニュートラルに真摯に挑戦している姿も知ることができる。
- ・一方で、非日常の刺激の後は、工場に併設、または近隣のウェルネス施設のゆったりとしたくつろぎの空間で過ごす新たな体験を提供。船上や人込みから離れた自然の中で瀬戸内海の多島美を眺め飲食を楽しむサービスもある。移動型のキッチンカーやトレーラー・コンテナホテル、サウナなどにより、来訪の度に多様な楽しみに浸れる。
- ・最新のグリーン交通システムを空・海・陸で体験でき、エリア全体でグリーンエネルギー感じられる。特に瀬戸内海の特徴を生かした海上交通では、小型電動船やゆっくりと移動するモビリティで、海から眺める街並みや、夜の工場を静かな海上から楽しめる。
- ・全ての体験をシームレスにつなぐスーパーアプリが快適でスムーズな旅を彩る。

**モデルケース：Power Base**  
 ・PowerXの蓄電池/再エネ事業  
 ・妹島和世氏による設計  
 ・ミュージアムファクトリー  
 ・未来の工場見学

オープンファクトリーのイメージ



迎え入れるゲートウェイ



出所：妹島和世

瀬戸内海エリア全体へと発展

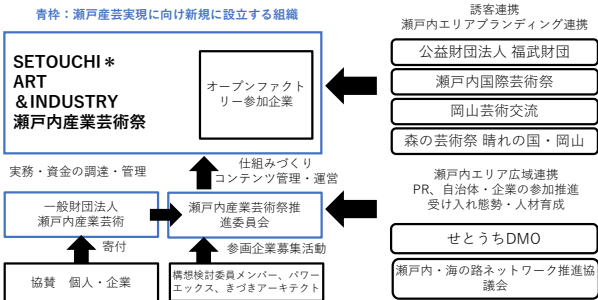
# 令和4年度 将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業 検討結果

## レガシー形成のスケジュール

万博、瀬戸芸と同時開催となる第一回の成功が重要。そのためには本年4月以降、運営主体となる組織体を設立すると共に、規模拡大を見越した交通インフラ、宿泊インフラ等の段階的な整備を進めていく。



## 想定する連携団体・役割



## 実現に向けて必要な予算規模・調達見込み

- 瀬戸産芸推進委員会: 2025年開催時の想定費用
  - 芸術祭運営費: 概算5億円 (内訳: オープンファクトリープロジェクト費260百万円、運営活動費: 会場賃借費100百万円、運営スタッフ費80百万円、サポートスタッフ活動関連費100百万円、会場費・警備費50百万円、広報費60百万円、カタログ・グッズ開発販売管理費20百万円、委員会運営関連費100百万円) ※同規模の芸術祭を参考に算出
  - ※尚、各工場のオープンファクトリー改装費、モビリティの電動化、宿泊・飲食施設の建設・運営は各事業者が負担。
- 活用が想定される補助金・交付金等:
  - スマートシティ、空港・港湾・海事、文化、観光分野における脱炭素化促進、デジタル化、インバウンド獲得等の補助金を探索中。一部で活用可能性について担当への打診を開始。
- ハード整備事業等の内容:
  - 宇野港～駅周辺のゲートウェイ、棧橋整備のハード開発費用(宇野港周辺整備と棧橋整備)20億円程度を想定。

## 2025年に向けた取り組み

既存の法規制の範囲内で可能なことに集中。

### 宇野駅からのパーソナルモビリティ体験

地元企業・民間団体と連携し、宇野駅周辺にキックボードやミニマムモビリティのレンタル所を整備

### 岡山駅/空港からのスムーズな移動体験

臨時鉄道または増便  
臨時バス・乗り合いタクシー増便  
玉野市内を周遊するバス・タクシーの増便  
※両備HDの賛同済み。今後、玉野市と協議予定

### 小型電動船を導入しポート&ライドへ導入

電動船のチャーター便から始め、棧橋整備済みの宇野港と玉エリアから導入にチャレンジ

### パーク&ライドへの導入

みやま公園パーキング、宇野港パーキングと連携し、臨時バス、EV軽のレンタカー導入にチャレンジ  
グリーンモビリティ専用道の導入にも挑戦

### ホテル&ライドへの導入

宿泊者向けの駐車場が整備されているホテルからチャレンジ  
●ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル(法川)  
●ケイリンホテル(田井近隣)  
●UNO Hotel(宇野港)  
●SETONITE(田井近隣)

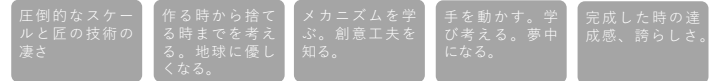
## 各界のTOP OF TOPと共にオープンファクトリーを作り上げる

瀬戸内産業芸術祭推進委員会は、トップオブトップの各分野の専門家・有識者のチームで構成され、オープンファクトリー、パブリックアート・サイネージ・スマホアプリなどの各種サービスを提供。各企業は高いクオリティの新体験を統一感のある形で創出可能となる

## 学びの体験としてのオープンファクトリー

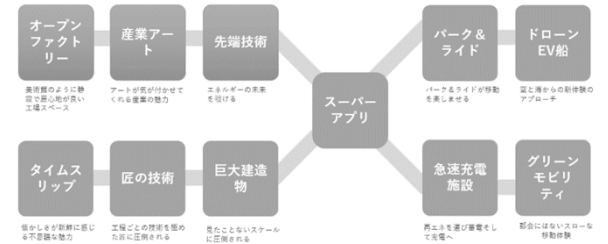
テーマ: 製造業はものづくり産業からライフサイクル産業へ

現場で迫力のシーンを見た後は、ものづくりに挑戦。体験を通して学び、職人の技術の凄さを実感する。展示ではものづくりの歴史に触れ、地球に優しい未来のものづくりへの挑戦を知る。子ども達に留まらず、大人たちも夢中になる。



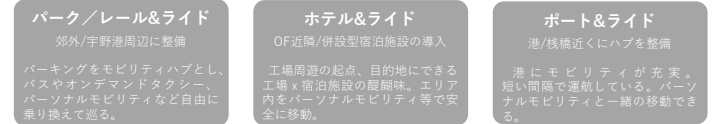
## 交通と非日常体験をシームレスにつなぐ「アプリ」

来訪前から来訪中、さらには来訪後にも楽しめるアプリ。利便性の提供に留まらず、文化を育む起点となる。



## 世界一のグリーン交通システムを体験できる街

統一感あるデザインに仕立て上げた様々なモビリティを提供していく。  
例: EV / Air Mobility / Mini Car / EV Trike / Kickboard / Minimum Mobility / 自動運転電動船



船による移動は渋滞回避に加えて移動自体の楽しみをつくる  
再エネ利用の電力で蓄電池に蓄え、モビリティへいつでも充電

## 静かな海景と豊かな地の恵みで、内側から整う真の贅沢

産業×アートによるたくさんの刺激の後は、心身のリフレッシュが欲しくなる。地元を巻き込み、施設の拡充を加速する。

### 極上のウェルネス

- ウェルネス SETONITE 海と一体と感じる極上な入浴体験
- ビオトープ犬島 訪れた人と共に土地を開墾しながら自給自足の環境を体験
- 食事 UNO HOTEL オーガニック野菜で体の中から健康に
- PowerBase 瀬戸内の美しい海と島々を少し高いところから楽しむ
- 船上X食事 guntu 静寂の瀬戸内の景色を楽しむ食事

### 100万人を惹きつける施設の開発が必要である

- 玉野市沼の再開発 最高のプライベートを提供できるエリア
- ビオトープXウェルネス 自然と一体となった庭
- ウェルネス 木々に囲まれたプライベート空間
- サウナトレーナー habitat 最高の景色を見つけたらそこが整う場所